

基本的なコール処理

一連の機能とサービスを使用して、基本的なコール処理を実行できます。機能の Availability はそれぞれ異なる可能性がありますので、詳細についてはシステム管理者に確認してください。

コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法をいくつか示します。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号を入力します。	電話機の概要 (P.9)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.61)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。または、  が点灯している場合は、 [発信] を押して、番号を入力します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.61)
番号をリダイヤルする	[リダイヤル] を押して最後の番号をダイヤルするか、ナビゲーション ボタンを押して（電話がアイドルの状態）、 [発信履歴] を表示します。	履歴の使用 (P.66)
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（同じ回線を使用）	<ol style="list-style-type: none">[保留] を押します。[発信] を押します。番号を入力します。	コールの保留と復帰 (P.29)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> > [不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。タッチスクリーン上のリストを押します。	履歴の使用 (P.66)

ヒント

- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルすることができます（プレダイヤル）。プレダイヤルするには、番号を入力してからオフフックにします。オフフックにするには、ハンドセットを取り上げるか、タッチスクリーンで番号を押すか、あるいは [ダイヤル]、、または  を押します。
- プレダイヤルすると、電話機は発信履歴ログから一致する番号（ある場合）を表示して、ダイヤルしている番号を予測しようとします。これは、自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号を押すか、その番号までスクロールしてオフフックにします。
- ダイヤル中に間違えた場合は、<< を押して番号を消去します。

コールの発信：追加オプション

電話機で利用できる特別な機能とサービスを使用して、コールを発信できます。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（別の回線を使用）	<ol style="list-style-type: none">1. 新しい回線の  を押します。最初のコールが自動的に保留状態になります。2. 番号を入力します。	コールの保留と復帰 (P.29)
短縮ダイヤルを使用する	次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">•  (短縮ダイヤル ボタン) を押します。• 固定短縮ダイヤル機能を使用します。• ファーストダイヤル機能を使用します。	短縮ダイヤル (P.43)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1.  > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。2. 名前を入力し、[検索] を押します。3. リストの項目を強調表示して、オフフックにします。	履歴の使用 (P.66)
Cisco WebDialer を使用して、パーソナルコンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">1. Web ブラウザを起動して、WebDialer 対応の社内ディレクトリのページへ移動します。2. ダイヤルする番号をクリックします。	モバイルコネク用電話機とアクセスリストの設定 (P.87)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none">1. ビジー音または呼出音が聞こえてるときに [折返し] を押します。2. 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。3. コールを再発信します。	システム管理者

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
短縮ダイヤル、履歴、またはディレクトリリストと関連付けられた回線が使用中であるかどうかを、その回線へのコールを発信する前に確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	BLF の使用による回線の状態の確認 (P.53)
プライオリティ (Precedence) コールをかける (SCCP 電話機のみ)	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.56)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="485 529 952 591">1.  >[パーソナルディレクトリ] を選択してログインします。 <li data-bbox="485 607 952 667">2. [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	電話機でのパーソナルディレクトリの使用 (P.71)
課金コードまたはトラッキングコードを使用して発信する (SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="485 680 952 711">1. 番号をダイヤルします。 <li data-bbox="485 727 952 846">2. トーンの後、Client Matter Code (CMC; クライアントマターコード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.58)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="485 976 952 1068">1. モバイル ボイス アクセスの番号とエンドユーザの PIN をシステム管理者から入手します。 <li data-bbox="485 1084 952 1177">2. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。 <li data-bbox="485 1193 952 1253">3. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。 <li data-bbox="485 1269 952 1330">4. 1 を押して会社の IP Phone にコールを発信します。 <li data-bbox="485 1346 952 1438">5. ユーザのデスクトップの電話番号以外のデスクトップの電話番号にダイヤルします。 	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.58)

コールへの応答

コールに応答するには、単にハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
ヘッドセットで応答する	 が点灯していない場合は押します。または、  が点灯している場合は、 [応答] または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.61)
スピーカフォンで応答する	 、 [応答] 、または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.61)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.29)
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	コールの保留と復帰 (P.29)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送] を押します。	ボイスメッセージシステムへのコールの送信 (P.34)
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	自動応答の使用 (P.63)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークまたはダイレクトコールパークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.47)
電話機を使用して、別の場所で鳴っているコールに応答する	コールピックアップを使用します。	自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答 (P.45)
プライオリティ (Precedence) コールに応答する (SCCP 電話機のみ)	現在のコールを切断して [応答] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.56)

目的	操作または状態の説明	詳細の参照先
携帯電話または他のリモート接続先でコールに 応答する	<p>モバイルコネクトを設定して電話に 応答します。</p> <p>モバイルコネクトを有効にすると次の ようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デスクトップとリモート接続先で コールを同時に受信します。 • デスクトップの電話でコールに 応答すると、リモート接続先の電話の 呼出音が止まってコールが切断され、 不在履歴メッセージが表示されま す。 • リモート接続先でコールに 応答すると、それ以外のリモート 接続先では呼出音が止まって コールが切断され、これらの電話 には不在履歴メッセージが 表示されます。 	Cisco エクステンション モビ リティの使用 (P.58)

ヒント

コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合は、そのコールが監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの終了

コールを終了するには、切断します。ここでは、さらに詳細を示します。

目的	操作または状態の説明
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または 【終了】 を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブにしておくには、 【終了】 を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または 【終了】 を押します。
複数のコールがある場合に1つのコールだけを切断する	【終了】 を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールを保留して復帰することができます。コールを保留にすると、保留アイコンが発信者 ID のとにりに表示され、対応する回線ボタンが緑に点滅します。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールがある場合、電話機の次のようなアクションによって示されます。

- 一定の間隔を置いて呼出音（点滅やビープ音など。ユーザの電話回線の設定によって異なる）を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留状態のコールの発信者 ID のとにりに保留復帰アイコンの動画を表示する
- 点滅するオレンジの回線ボタン（回線の状態によって異なる）を表示する

目的	操作または状態の説明
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [保留] を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。2. [復帰] を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">1. 該当する回線ボタンまたは（点滅）を押します。これを行うと、保留状態のコールが自動的に復帰する場合があります。<ul style="list-style-type: none">• 回線に復帰コールが 1 つある場合、このコールは保留解除されます。• 回線に復帰コールが複数ある場合、最も古い復帰コールが保留解除されます。• 回線に復帰していないコールしか存在しない場合、このコールが保留解除されます。2. 必要に応じて、該当するコールをスクロールし、[復帰] を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールを同時に受信しているという警告を受けると、デフォルトでは、ユーザの電話機は着信コールの表示に電話機スクリーンのフォーカスを移します。システム管理者はこのフォーカス優先度の設定を変更することができます。
- 共有回線を使用している場合、コールを保留する電話機でのみ保留復帰の呼出音が鳴り、この回線を共有する他の電話機では鳴りません。

- 保留復帰の警告が発生する間隔は、システム管理者が決定します。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットで使用できます。

目的	操作または状態の説明
マイクロフォンをオンにする	 を押します。
マイクロフォンをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

1本または複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが自動的に強調表示されない場合は、タッチスクリーンで該当するコールを押すか、そのコールまでスクロールします。

目的	操作または状態の説明
同じ回線で接続されたコール間で切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。 [復帰] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。
異なる回線で接続されたコール間で切り替える	<p>切り替え先の回線の  を押します。</p> <p>回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。複数のコールが保留になっている場合は、該当するコールを強調表示し、[復帰] を押します。</p>
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。アクティブなコールが保留になり、選択したコールが復帰します。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作または状態の説明
進行中のコールをデスクトップの電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. [モビリティ] ソフトキーを押し、[携帯電話へコールを送信] を選択します。2. ユーザの携帯電話で進行中のコールに応答します。 デスクトップの電話回線ボタンが赤●に変わり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。他のコールに同じ電話回線を使用することはできませんが、デスクトップの電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信および受信が可能です。
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none">1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないで済みます。2. デスクトップの電話機で 4 秒以内に [復帰] を押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。

複数のコールの表示

複数のコールが電話機でどのように表示されるかを理解することで、コール処理作業を整理しやすくなります。

標準表示モードでは、強調表示された回線のコールが電話機で次のように表示されます。

- 優先順位が最も高く、通話時間の最も長いコールがリストの先頭に表示されます。
- 同じタイプのコールは、まとめて表示されます。たとえば、通話したコールは先頭付近に、保留中のコールは末尾にまとめて表示されます。

次の追加メソッドを使用して、複数の回線で複数のコールを表示することができます。

目的	操作または状態の説明
別の回線のコールを表示する	<ol style="list-style-type: none">1. を押します。2. すぐに回線ボタンを押します。
コールの概要モードに切り替える	<p>強調表示された回線のを押します。</p> <p>電話機はコールの概要モードに切り替えられ、回線ごとに1つだけのコールが表示されます。表示されるコールは、アクティブなコールまたは最も長い時間保留されているコールです。</p> <p>標準の表示モードに戻るには、を押してから、すぐに回線ボタンを押します。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。

目的	操作または状態の説明
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [転送] を押します。 2. 転送先の電話番号を入力します。 3. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送がサポートされている場合は、ハンドセットを置くことによっても転送を完了できます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [転送] を押します。 2. 転送先の電話番号を入力します。 3. 相手が応答するのを待ちます。 4. [転送] をもう一度押して転送を完了するか、[終了] を押してキャンセルします。 <p> (注) 電話機でオンフック転送がサポートされている場合は、ハンドセットを置くことによっても転送を完了できます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する (直接転送、SCCP 電話機のみ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. スクロールして、回線上の任意のコールを強調表示します。 2. [選択] を押します。 3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。 4. 選択したコールの1つが強調表示されている状態で [D 転送] を押します (必要に応じて [次へ] を押して、[D 転送] を表示します)。 2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。 <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに [参加] を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	<p>[即転送] を押します。詳細については、P.34の「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」を参照してください。</p>

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効になっている場合、ハンドセットを置くことによってコールを完了してください。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、**【転送】**をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- **【転送】**を使用して保留状態のコールをリダイレクトすることはできません。転送前にコールの保留を解除するには、**【復帰】**を押します。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

【即転送】を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールを自分のボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、**【即転送】**を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを送信することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、**【即転送】**でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記のオプションをサポートしていない場合、**【即転送】**を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	操作または状態の説明
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	【即転送】 を押します。次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none">• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。• 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、**【即転送】**をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって許可されている場合は、次の2種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機からアクセスできますが、他のコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	操作または状態の説明
プライマリ回線の不在転送を設定する	[不在] ソフトキーまたは [不在転送] ボタンを押し、転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[不在] ソフトキーまたは [不在転送] ボタンを押します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次のことを確認します。 <ul style="list-style-type: none">• プライマリの電話番号の上にコール転送アイコンが表示されている。• ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできますが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送条件を変更できます。

サイレントの使用

サイレント機能を使用して、着信コールの呼出音が鳴らないようにできます。システム管理者がユーザの電話機のサイレントを有効にできます。

電話機で [サイレント] と [コール転送] の両方が有効になっている場合は、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

インターコム回線の場合は、サイレントがアクティブでも呼出音が鳴ります。

目的	操作または状態の説明
サイレントをオンにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタン  を押します。 電話機に「サイレント」と表示され、サイレントを示す  が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント] ソフトキーまたは [サイレント] ボタン  を押します。
サイレントの設定をカスタマイズする	サイレント設定がユーザ オプション Web ページに表示されるようにシステム管理者によって設定されている場合は、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.77 の「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」を参照してください。2. ドロップダウン メニューから [ユーザオプション] > [デバイス] を選択します。3. 次のオプションを設定します。<ul style="list-style-type: none">• [サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。• [DND 着信呼警告]: 警告をビープ音のみまたは点滅のみにするか、すべての表示を無効にして音声による警告通知に設定します。

会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、会議コールで複数の参加者と同時に会話できます。

会議の各機能の使用法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- **会議**：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。**[会議]** ソフトキーまたは **[会議]** ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- **参加**：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。**[参加]** ソフトキーまたは **[参加]** ボタンを使用します。参加機能を使用できるのは SCCP 電話機のみです。
- **C 割り込み**：共有回線のコールに自分自身を追加することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。回線ボタンを押すか、**[C 割り込]** ソフトキーまたはボタンを使用します。C 割り込みを使用できるのは、共有回線を使用する電話機のみです。
- **Meet-Me**：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。**[ミーティング]** ソフトキーまたはボタンを使用します。

会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	操作または状態の説明
会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. 接続コールで [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] ソフトキーを表示します）。2. 参加者の電話番号を入力します。3. コールが接続されるのを待ちます。4. 参加者をコールへ追加するには、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンをもう一度押します。5. この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。
既存の会議に新規参加者を追加する	上記の手順を繰り返します。 会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。

目的	操作または状態の説明
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.40の「会議の参加者の表示または削除」を参照してください。

参加機能の使用法

(SCCP 電話機のみ)

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	操作または状態の説明
単一の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで、会議に含める別のコールを強調表示し、[選択]を押します。 選択したコールにアイコンが表示されます。 2. 追加するコールごとにこのステップを繰り返します。 3. [参加]を押します (必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[参加]を表示します)。
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで[参加]を押します (必要に応じて[次へ]ソフトキーを押して、[参加]を表示します)。 2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタンを押します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • コールが結合される。 • 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示される。操作を完了するには、コールを強調表示し、[選択]を押してから、[参加]を押します。 <p> (注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p>
2つの既存の会議を結合する	<p>[参加]ソフトキーまたは[D 転送]ソフトキーを使用します。</p> <p>この機能が使用可能になっているかどうかをシステム管理者に確認します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.40の「会議の参加者の表示または削除」を参照してください。

C 割り込みの使用方法

C 割り込みを使用すると、共有回線のコールに自分自身を追加することによって、会議を開催できます。

目的	操作または状態の説明
共有回線のコールに割り込んで会議を開催する	共有回線の回線ボタンを押します。 場合によっては、コールを強調表示し、 [C 割込] を押して操作を完了する必要があります。 詳細については、 P.50 の「割り込みの使用による共有回線のコールへの参加」 を参照してください。
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	P.40 の「会議の参加者の表示または削除」 を参照してください。

Meet-Me の使用方法

Meet-Me 会議を使用すると、会議番号をコールすることによって会議を開催または会議に参加することができます。

目的	操作または状態の説明
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none">1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。2. 番号を参加者に配布します。3. 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにして、ダイヤル トーンが聞こえてから [ミー トミー] を押します。4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 参加者は、ダイヤルすることによって会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が参加する前に参加者が会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はコールを再発信する必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 <p> (注) 開催者が参加する前に会議にコールを発信すると、ビジー音が聞こえます。その場合は、コールを再発信します。</p>

目的	操作または状態の説明
Meet-Me 会議を終了する	すべての参加者が切断する必要があります。 会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアな Meet-Me 会議番号にコールすると、ユーザの電話機には「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.54 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

会議の参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	[参加者] ソフトキーまたは [会議リスト] ボタンを押します。 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [更新] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、 [削除] を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [ドロップ] ソフトキーまたは [最後の参加者の削除] ボタンを押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	P.37 の「会議機能の使用方法」 を参照してください。

インターコム コールの発信と着信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- マイクロフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、**[終了]** ソフトキーを押してインターコムを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、スピーカのいずれかを使用して発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できます。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルが可能。
- 一度に1つのインターコム回線のみ使用が可能。
- アクティブなコールの監視中または記録中は、インターコム コールの受信と発信はできない。
- インターコム コールを保留にすることはできない。



(注)

エクステンション モビリティ プロファイルを使用してデスクトップの電話機に毎日ログインする場合は、エクステンション モビリティ プロファイルがインターコム機能を含むようにシステム管理者によって設定されていることを確認してください。

目的	操作または状態の説明
事前定義したインターコムの通話相手にインターコム コールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
任意のインターコム番号にインターコム コールを発信する	 (インターコム回線) を押します。インターコムの通話相手の番号または相手の短縮ダイヤル番号を入力します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。

目的	操作または状態の説明
インターコム コールを受信する	<p data-bbox="478 196 1220 256">インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul data-bbox="489 285 1220 457" style="list-style-type: none"><li data-bbox="489 285 991 313">• 一方向のオーディオのメッセージを聞く。<li data-bbox="489 326 1220 386">•  (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話する。<li data-bbox="489 399 1220 457">• インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了] を押す。